

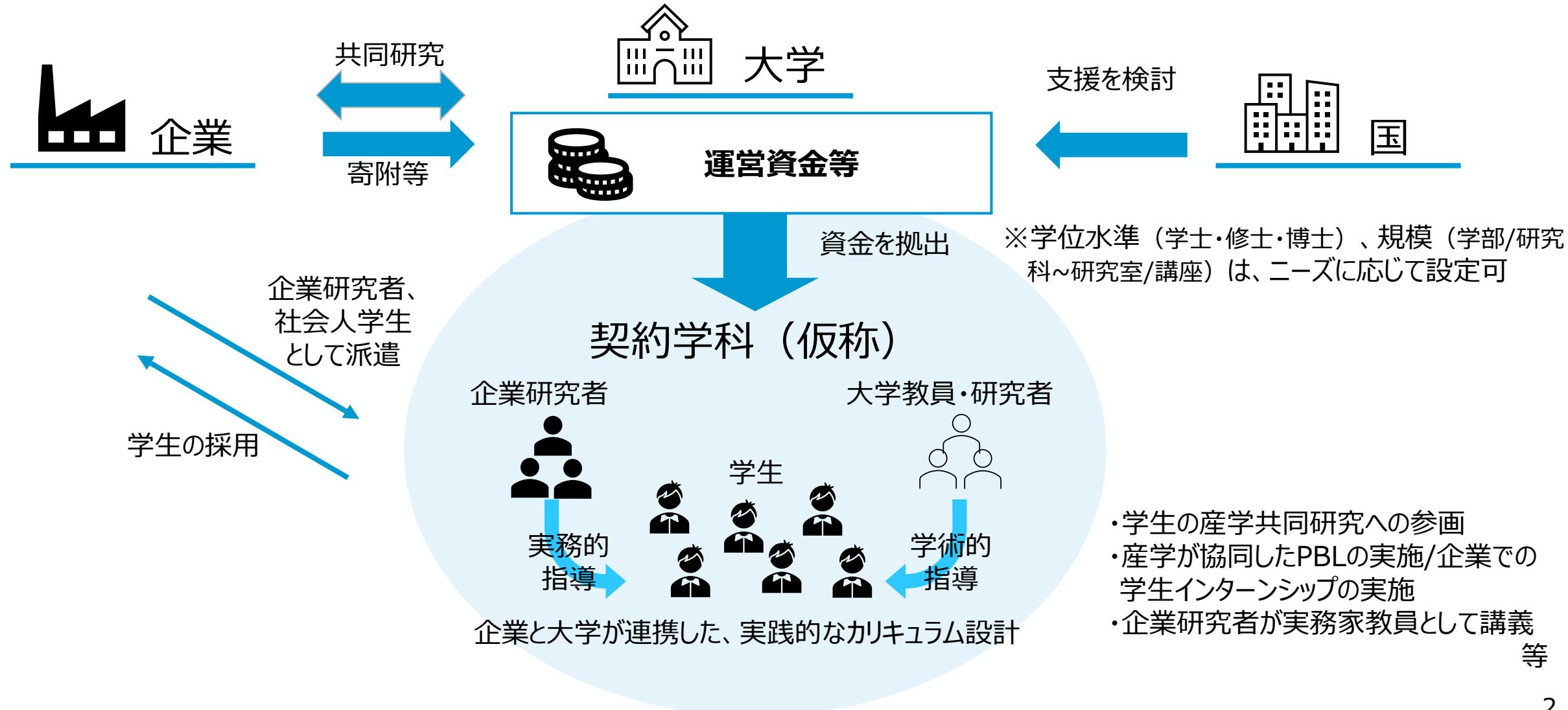
契約学科（仮称）について

経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室

室長補佐 加治佐 一晃

日本における産業界がコミットした人材育成（契約学科（仮称））について

- ✓ 10年後の企業の中核となる人材を育成するため、产学が融合してビジネス化の牽引役となる人材を育成する取組を支援する。



想定される分野の例

我が国の産業競争力の確保に
重要な技術分野

複数の学問分野にまたがる分野
(異分野融合)

学問面・産業面の両方で
最先端の分野

我が国の産業にとって重要なある
ものの、大学では維持が難しく
なっている分野

ビジネス化のためには、異分野の
研究成果の融合が必要である
分野

国際的に研究競争が発生して
おり、一刻も早いビジネス化が求
められる分野



溶接
原子力工学
送配電
冶金



HDD (機械工学×情報工学×
材料工学)
自動運転 (機械工学×電機工
学×情報学)



AI
データサイエンス

科学とビジネスの近接化時代の大規模产学連携拠点形成事業

令和7年度補正予算（案） 103億円

イノベーション・環境局
大学連携推進室

| 事業の内容 | 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等） | 成果目標 |
|---|--|---|
| <p>事業目的</p> <p>科学とビジネスが近接化する時代において、成長産業を創出するためには、イノベーションに不可欠な“知の源泉”である大学等と産業界が連携し、研究成果の実装化・人材育成に取り組むこと重要である。</p> <p>本事業により、大学等と産業界が連携した大型の研究開発プロジェクト等を後押しし、産業界のコミットの引き上げや大学改革等によって産学連携を次なるステージに進め、科学技術・資金・人材が集結・循環するイノベーション・エコシステムの形成を目指す。</p> <p>事業概要</p> <p>国家として重要な技術領域（①）や地域の産業特性を生かす技術領域（②）において、大学等が、企業から大規模な投資を呼び込み、スタートアップ創出等による事業化に向けて、施設整備や人材育成を伴う研究開発（最大3年間）を行う場合の費用を一部補助する。</p> <p>【事業規模下限額・補助上限額】</p> <p>①国家戦略技術領域：事業規模15億円以上、補助上限25億円 ②地域産業技術領域：事業規模7.5億円以上、補助上限10億円</p> | <pre>graph LR; 国[国] -- 補助(基金) --> NEDO["国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)"]; NEDO -- 補助(2/3以下) --> 大学等[大学等]</pre> <p>事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）</p> <p>国 → 補助（基金） → 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） → 補助（2/3以下） → 大学等</p> | <p>令和14年度までに、</p> <ul style="list-style-type: none">・全国各地域ブロック及び主要な重要技術領域において、産学連携プロジェクトを創出する。・採択大学拠点の大学発ディープテックスタートアップ創出実績を2倍以上にする。・民間企業等から採択大学等に対する投資額を50億円以上増加させる。 |